

教育委員会（次世代教育・人材育成）

第9回細菌学若手コロッセウム 開催報告

会期：2015年11月23日（月祝）～25日（水）

代表世話人：小松澤 均（鹿児島大学）

世話人：久留島 潤（群馬大学）、後藤恭宏（宮崎大学）、中井亮佑（国立遺伝学研究所）、中根大介（学習院大学）、福田真嗣（慶應義塾大学）、松尾美樹（鹿児島大学）

場所：KKR ホテル敬天閣（宿泊・学術発表；鹿児島県鹿児島市城山町5-24）

参加者：74名（うち学部学生2名、大学院生27名；世話人6名を含む：所属学会；日本細菌学会、微生物生態学会、ゲノム微生物学会、RNA学会、免疫学会、乳酸菌学会、日本寄生虫学会）

支援：日本細菌学会（助成金30万円）

発表数：口頭発表23題（うち企画発表「未来のエース発表」10題）、ポスター発表25題、特別講演1題

概要

研究歴の短い23名（学部学生2名、大学院生18名、博士研究員3名）が口頭発表を行った。いずれの演題も発表内容のクオリティーは高く、制限時間一杯まで質疑応答が続き、非常に活発なセッションとなった。発表者のうち10名は、日本細菌学会、微生物生態学会、ゲノム微生物学会、RNA学会、免疫学会、乳酸菌学会、日本寄生虫学会の若手の会から推薦頂いた大学院生、博士研究員であった。

また、サプライズ企画として参加者全員をグループに分け、「微生物」というキーワードにて各グループにて研究企画立案を行い、10分間でスライド形式のプレゼンテーションを行ってもらった。参加者全員が夜遅くまで研究計画やプレゼンテーション用スライド準備を熱心に行い、すべてのグループから世話人の予想をはるかに超えた素晴らしいプレゼンテーションが繰り出された。

将来展望と要望（世話人より）

今回、日本細菌学会からの助成金をいただき、多くの参加者に発表内容、企画等に満足いただく会の運営を行うことができ、非常に感謝申し上げます。

第10回細菌学若手コロッセウムは群馬大学の富田先生を代表世話人として開催することが決定しており、今回の世話人のうち4名が引き続き世話人を行わせていただきます。現在さらに2～3名の世話人を選定中です。また、第11回の開催を見越して、第10回では第11回に代表世話人を依頼させていただく先生に基調講演を行っていただくことを世話人で決定しました。

今回の発表をベースとして2～3題のワークショップを日本細菌学会総会にてご提案させていただければ幸甚です。

